

広報

よもぎた

内容

- 総務課から……………2~3
- 民生課から……………4~5
- 教育委員会から……………6
- 農林水産課から……………7
- 教育委員会から……………8
- 芸術鑑賞教室開催される……………9
- 高校生を持つ父団の会から……………10
- 談話室・行事予定……………11
- けっばる蓬田人・戸籍の窓口……………12

No.179



赤ふんは夏のファッション…かな？

8月
1989

児を抱いて
泳げり波の間の揺籃
子郷
いよいよ暑い夏がやって来た。
七月二十一日、青森地方氣象台が梅雨明けを宣言。
昨年より十日早く、平年より五日早い。
長期予報では、暑い日が続く予定。
農家の皆さん、期待が大きいのでは？
七月二十二日（土）、蓬田村観光協会が主催した玉松海水浴場の海開きが行われた。すばらしい晴天に恵まれ、宝探し（ホタテ拾い）や、卵のキャッチボール、登山囃子、三味線演奏、ホタテの試食に多くの人が楽しんだ。
上の写真は、この行事の一風景である。
肥満の現代っ子に赤ふんは、何ともユーモラス。
この子らからは、災難も逃げて行きますように。

第二分団が団体優勝

ポンプ操法大会八年ぶりに復活

六月二十五日(日)、蓬田小学校グラウンドにおいて、蓬田村消防団(団長坂本秀行団員百九十五名)が、第九回操法大会を八年ぶりに開催しました。

士気高揚、鍛練のためにぜひ必要ということになり復活しました。

各分団は、団員が仕事を終える午後六時ごろからそれぞれの練習場に集まり、夜九時ごろまで連日きびしい練習を積み重ねて来ました。

成績は次の通りです。
 ◇団体の部▽優勝Ⅱ第二分団(長科)②第一分団(中沢)
 ③第四分団(蓬田)

第八回大会が開催されたのは昭和五十六年の年で経費がかなり過ぎるなどの理由からその後中断していましたが、このほど、消防幹部会で団員の

◇個人の部優秀賞▽指揮者 松本淳司(長科)一番員 三上昭雄(中沢)二番員 福井保人(郷沢)三番員 倉谷博幸(阿弥陀川)四番員 稲葉貢(高根)

指揮者命令のもと無駄のないキビキビした動作のポンプ操法が披露され、来賓席や応援団から喚声上がる場面もありました。

大会は、午後一時の抽選による順番決定から始まり、蓬田、広瀬、長科、瀬辺地、郷沢、高根、阿弥陀川、中沢の順に進められました。

審査は、蟹田分署があたり、五名の審査員が指揮者、一、二、三、四番員に一人ずつつき、減点法により採点しました。

終了後、八戸村長から、大会を見て心強く思った。今後

も普段からの鍛練、機械器具の点検を怠ることなく、あらゆる災害から村民の生命、



団体優勝の第二分団

堂々の分列行進

消防団合同観閲式



パレードは、主会場までの一、四キロメートルを、団員全員、ポンプ車により整然と行われ、見守る蟹田町民にアピールしました。

その後、開式陳告、殉職団員に対する黙とう、検閲、ポンプ操法、分列行進と順調に進み、赤、青、黄などのカラフルな一斉放水も実施されました。

どの分団も、規律あるスピード感あふれる動きを見せ、日ごろの訓練の程が伺われました。

八戸村長の講評は「日ごろの訓練が実を結び、りっぱな成績でした」、木戸町長の訓示は「明るく、住みよい村・町にするため消防団員の皆さんに期待します」でした。

消防功労者として表彰された方々は次の通りです。

◇消防庁長官表彰▽永年勤続功労章Ⅱ八幡敏雄
 ◇県消防協会会長表彰▽勲章Ⅱ八幡一郎・吉田龍一・張間勇三▽永年勤続章(二十五年・二十年・十五年・十年)Ⅱ二十六名

◇県消防協会東青支部長表彰▽支部長章Ⅱ十名
 ◇団長表彰▽団長章Ⅱ八名
 ◇村長表彰▽村長章Ⅱ五名
 (敬称略)

会場持ち回りで、毎年実施されている蓬田村と蟹田町の消防団合同観閲式が、今年は六月二十七日に蟹田漁港を主会場として開催されました。

式は、蓬田村から八分団百九十五名、蟹田町から十一分団二一八名の参加を得て、午前七時三十分の花火を合図にJR蟹田駅前を出発したパレードで始まりました。

温泉脈や〜イ!!

ヘリコプターで湯脈の調査

温泉はどいつ?

七月十七日(月)、空から湯脈を探そうと、村の上空をヘリコプターが飛びました。これは、休業中の公衆浴場(温泉)を復活させたいという村民の切なる願いをかなえようと村が実施したもので、いわゆる「ふるさと創生一億円」の一部を利用して行われたものです。

空から探すこの方法は、今最も新しい温泉探査法で、これによって得られたデータは、非常に信頼性の高いものと考えられています。

実際にどんな方法かと言うと、地上約百メートルの上空を飛ぶヘリコプターに特殊な装置を積み、地下の温泉源から出る数種の放射線の量を計り、そのデータをコンピュータで分析し、より有望な掘削地点を割り出すものです。

最近、温泉を求めて青森市の郊外型温泉までわざわざ出かける村民も相当数見られるようですが、もし、温泉が復活すればこの様な苦労も必要なくなる訳です。

また、大量の湯が湧けば、その利用方法については、単に浴場に使うばかりでなく、農業や色々な方面に活用できそうです。

調査の結果が出るのは、本年十一月頃だそうで、おおいに期待されます。



また、大量の湯が湧けば、その利用方法については、単に浴場に使うばかりでなく、

ひとこと・村長から

蓬田紳装のご利用を

蓬田村が誘致した唯一の企業「蓬田紳装」は今、活発に発展を上げつつあります。

従業員(社員)も、百名で、殆んど村内の方々です。地元の活性化、経済向上の為に、洋服(男女)は是非、紳装をご利用下さい。

技術的にも他に勝るとも劣らなく、しかも、品質保証。服地は、日本一ともいわれている「ミュキ」毛織のものです。

村民の方々のご利用を心からお願ひ申し上げます。何時でも工場を訪れて、製品や内部をご見学下さい。

暮らしと電気安全

電気の安全、使うあなたが主役です

(財)東北電気保安協会

八月は電気使用安全月間です。感電災害は、七月から九月までの三ヶ月間に集中して発生しています。

夏場は皮膚の露出部分が多く、発汗によって皮膚がぬれるなど、人体の抵抗は小さくなって電気が通りやすくなります。

また、夏場は疲労から注意力が散漫となりがちなので、この点からも、毎年八月に通

商産省の主唱のもと「電気使用安全運動」が全国一斉に行われます。

感電災害を防止するには、不良の電気設備をなくし、みんなが電気の取扱いに注意することが必要です。

身障者がスポーツで交流

村総合運動場に東郡が競う

七月七日（金）、蓬田村総合運動場において、第十六回東津軽郡身体障害者スポーツ大会が六町村二百五十名の参加を得て開催され、わが村は三位に入賞しました。



年以上に参加者が増え心強い、スポーツを通じて社会参加の拡大につなげよう」と挨拶されました。

八戸良次郎村長、黒瀧孝造

東地方福祉事務所長から「日頃鍛えた技を発揮し、今日一日楽しく過ごして下さい」とのお祝いの言葉が続き、選手代表の木戸喜代作（瀬辺地）さんが、堂々の選手宣誓をしました。

大会は、午前に個人競技の徒競走、砲丸投げ、ハンドボール投げ、走り幅跳び、団体競技の綱引き予選が行われ

ました。午後からは、レクリエーション競技として玉入れ、風船割り、ボール送り、綱引き決勝、四百メートル混合リレーが行われ、楽しい一日を過ごしました。

この大会は、多くの身体障害者が積極的に参加し、スポーツを通じて体力の維持、増進、機能回復等残存能力の向上を目的に、東津軽郡身体障害者福祉連合会が主催しているものです。

大会は、午前十時から始まり、各町村の選手団が力強い足どりで入場行進した後、佐藤忠美会長（今別町）が「昨



果は、四十六点を獲得した平内町が、三年連続の総合優勝を果たしました。

二位は平館村、三位は蓬田村でした。

最後に、次回開催地の蟹田町へ大会旗が引継がれ、和気あいあいの大会に無事幕がおりされました。

国民年金保険料の免除申請手続

ご存じですか？

年金額は $\frac{1}{3}$

保険料の免除を受けた期間は、年金を受けるための受給資格期間に含まれますが、年金の額を計算するときは、保険料を納めた場合の三分の一に減額されます。

追納

保険料の免除を受けると、年金の額が低くなります。そこで、生活に余裕ができたときに、過去十年前までのかのぼって免除を受けた期間の保険料を納めることができます。

追納する保険料の額は、保険料の免除を受けた当時の保険料の額に、追納するまでに経過した年数に応じて、政令で定める一定の率を掛けた額を加算した額となります。

「免除」とは、保険料を納めることが困難なときのための「一時的な猶予」と考え、ゆとりができたときは追納して、より多い年金額を受けるようにしましょう。詳しいことは、役場国民年金係におたずねください。

申請免除

- 次のいずれかに該当する人で保険料を納めることが困難な人は、都道府県知事に保険料免除の申請をして承認を受ければ保険料が免除されます。ただし、生命保険料を一定額以上に支払っているときは、免除されないこともあります。
- (1) 所得がないとき
 - (2) 生活保護法の生活扶助以外の扶助を受けているとき
 - (3) 地方税法に定める障害者または寡婦で、年間の所得が一〇〇万円以下のとき
 - (4) (1)～(3)に該当しないが、保険料を納めることが大変困難なとき

老人パワー爆発!

第3回蓬田村老人スポーツ・ゲートボール大会開催



七月十二日(水)、曇り空の少し肌寒い日、蓬田村老人クラブ主催のスポーツ・ゲートボール大会が、村総合運動場において開催されました。大会は、午前十時から始まり、各老人クラブが堂々の入場行進をした後、名誉大会長八戸良次郎村長から「明治、大正、昭和と苦しい時代に家族のため、生活のためにと苦勞されてこられた皆さんです。これからは、明るく楽しい人生にして下さい」と挨拶がありました。

選手代表は坂本三千男(中沢)さんで、元気いっぱい宣誓でした。

大会は、午前の部として、



アメリカ食い競走、輪投げ、スパーンリレー、嫁婿さがし、ボール送り、カン釣り競走、タイヤころがし、けつあつパンパンが行われ、選手は年齢を忘れハッスルしていました。

午後の部は、ゲートボールの試合を行い、日頃鍛えた技と高齢とは思えない程のパワーを発揮し、続く玉入れ、三〇メートル混合リレーも精力的にこなした大会を盛り上げました。

最後に、前老人クラブ会長大宮金助さんの音頭で万歳を三唱をし、楽しい一日の幕を閉じました。

結果は次のとおりです。

- ◆スポーツ部門
 - 一位 蓬田
 - 二位 中沢
 - 三位 長科
- ◆ゲートボール部門
 - 一位 蓬田
 - 二位 長科
 - 三位 中沢

赤十字思想普及ミニ知識

シリーズ④

三上剛太郎物語

生きている赤十字旗……

明治三十七年(一九〇四年) した。

二月、日本はロシアに宣戦を布告、日露戦争の火ぶたがきつておとされました。

青森県下北郡佐井村出身の三上剛太郎は、第八師団衛生隊付き陸軍軍医として北満州の黒溝台の大激戦に参加していました。

翌三十八年一月、大雪原に仮包帯所を設営し、弾丸や砲弾で傷ついた日本兵七十三名、ロシア兵一名の担当にあたり、三上軍医は、仮包帯所がロシア軍のミシチェンコ騎兵団に包囲され、今まさに襲撃を受けそうになっているのを知り、とつさにそばにあった血のついた三角巾を二枚縫い合わせて正方形にし、軍用の赤毛布を切りとって正方形のまん中に十字を縫いつけ「即製の赤十字旗」を作り、これを竿に結ぶと酷寒の外へ飛び出し、ミシチェンコ騎兵団に向かつてこの旗を振り続けま

した。

三上軍医の打ち振る「即製の赤十字旗」を見たミシチェンコ騎兵団は、やがて囲みをといて去って行き、仮包帯所の七十四名の生命は救われたのです。

なお、この「即製の赤十字旗」は昭和三十八年一月、赤十字精神を更に世に広めてほしいと三上氏本人より、日赤青森県支部に寄贈され、保管されています。

(今回は「赤十字奉仕団」行動するボランティアです。)





平成元年度 成人式対象者名簿

(昨年の成人式)

「昭和44年4月2日～45年4月1日生」(平成元年7月1日現在)

地区名	氏名	地区名	氏名	地区名	島名
中 沢	横山 興道	阿弥陀川	倉谷 久美子	瀬辺地	越田 賢吾
"	坂本 浩二	"	村上 雪子	"	越田 明拓
"	吉田 修	"	八戸 こず江	"	越田 範人
"	坂本 春彦	"	青木 靖子	"	越田 照夫
"	坂本 能婦子	"	東澤 輝美	"	飯田 拓也
"	坂本 清子	"	八戸 美穂	"	飯田 康子
"	吉田 清子	蓬 田	中村 幸伯	"	工藤 ますみ
"	三上 美代子	"	宮田 紀彦	"	木戸 和歌子
"	坂本 聡子	"	工藤 尚子	"	木村 早穂理
"	佐々木 博子	"	武井 まゆみ	"	中野 のり子
長 科	張間 智宏	"	宮田 智賀子	広 瀬	川崎 晃一
"	小鹿 智美	"	小松 智実	"	田中 孝人
"	小鹿 綾子	郷 沢	高田 涉	"	田中 美智子
"	工藤 陵子	"	工藤 徹	"	越田 尚子
"	泉谷 幸子	"	福井 正志	"	太田 留美子
"	小鹿 麻美	"	大宮 和人	"	久慈 靖子
阿弥陀川	川内 重則	"	畠山 英樹	"	田中 奈都子
"	小松 国秀	"	長谷川 七重	高 根	八幡 晃
"	森 小百合	"	大宮 恵利子	"	八幡 京子
"	古川 みゆき	"	越田 和歌子	"	稲葉 なほ子
"	八戸 都津子	"	高田 美奈子	長 科	天野 修
"	青木 昭子	瀬辺地	木戸 義行	郷 沢	木村 雄一
"	吉田 千弘	"	越田 潤司		

- ◇日時 平成元年八月十四日(月)午前十時
- ◇場所 蓬田村中央公民館
- ◇主催 蓬田村教育委員会
- ◇主管 社会教育課 ☎二七二二二二(内)二七二二二二

牧場祭りへどうぞ！

8月27日(日)は“よもぎた牛”を食べよう

よもぎた 牧場祭

8/27日
時間 10:00~16:00
場所 蓬田村行政センター

アトラクション

- ・牛のふれあい
- ・牛のふれあい(牛のふれあい)
- ・牛のふれあい
- ・牛のふれあい
- ・牛のふれあい

参加して♪ 特別販売

- ・蓬田牛バーベキュー
- ・蓬田牛バーベキュー
- ・蓬田牛バーベキュー

主催 蓬田村

後援

蓬田牛バーベキュー
・牛肉引線別売券(500枚) 1箱1,000円
・牛肉引線別売券(100枚) 1箱1,200円

おいしい《よもぎた牛》を広く知ってもらおうと、昭和六十一年から開催されている牧場祭りは今年も第四回目が開催される予定です。

今年は、村も百周年を迎えるため、これを記念して多様なアトラクションを準備しておりますので、ご家族、友達をおさそいの上、多数おいで下さい。

村民の皆さんが参加できるアトラクションは次のとおりです。

- ①宝さがし②ズバリ当てましょう(牛の体重当て)③牛乳早飲み大会④ビール早飲み大会⑤干し草投げ大会⑥カラオケ大会⑦お楽しみ抽選会⑧草上綱引き大会⑨草上自作ソリすべり大会⑩ウサギ競走⑪ファミリーマラソン大会
 - ◇蓬田牛バーベキュー前売券・発売日時
八月七日～八月十二日
午前九時～午後四時まで
 - ・発売場所
蓬田村役場農林水産課
蓬田村農協生産販売課
 - ・発売方法
先着順一枚千円
(八百枚準備)
 - ◇当日発売
先着順一枚千二百円
(百枚準備)
- 当日雨天の場合は中止になります。また、牛肉の引替え及び、直売は役場前で行います。

全員が一緒になって！

力を合わせる宮本地区区会



七月五日(水)から、蓬田村農業者トレーニングセンター一玄関前に、りっぱな七夕飾りが飾られました。

これを制作したのは、宮本地区区会婦人部(東沢喜代子部長)の皆さんで、昨年から実施しているそうです。

宮本地区区会は皆さんもご承知のとおり、昭和六十三年の四月に誕生した地区会ですが、まとまりのある自治会として育っています。

どんな作業をするにも人数が少ないため、会員の全員参加が義務づけられています。毎週、第二、四の土曜日は、地区周辺の清掃活動日と決めて奉仕活動も実施しているという事です。

また、昨年は村民体育祭に初出場で入場行進の部最高賞の交通安全協会会長賞を獲りました。

今年は特に、村制施行百周年にちなんだものをと、色々趣向を凝らしているようです。素晴らしい入場行進が見られそうです。

赤十字に加盟

蓬田小学校・中学校

七月七日(金)、蓬田小学校(奈良良成校長、児童数三百九人)と、蓬田中学校(相内潔校長、生徒数百九十一人)が青少年赤十字に加盟し、両校体育館で登録式が行われまし

た。式では、日本赤十字社青森県支部の齋藤健事務局長から赤十字旗が村長(坂本助役代

理)に伝達され、児童生徒代表に手渡されました。小学校では、森由美子さんの声に全員で「心身をきたえ、郷土社会のためにつくします」と誓いの言葉を斉唱しました。講師の宮崎英昭さんからは、「これからの国際化社会に対応できるりっぱな人間になつて下さい」と講話がありました。

また、坂本助役が「今日から心新たにして、暖かい心で勉強、運動に頑張つて下さい」と式辞を述べました。蓬田小・中学校では、健康・安全・奉仕の共通目標を目指して、体験学習など地域との連携を図りながら自主的活動を推進していくことを決めました。

実技指導では、ダミー人形を使った実験がありました。これは、子供が車の陰から飛び出した時に、運転手が急ブレーキを踏んで車が停止するまでの距離を実際に見てもらおうと行われたもので、二十・三十・四十・五十キロとスピードを変えて実験されました。



八月は県産品愛用月間です。

県産品を愛用していますか。
ご贈答、お土産等にぜひ、県産品をご愛用下さい。

危ない!

車は急に止まらない!

蓬田幼稚園交通安全教室

は急に止まらないことをそれぞれに実感したようです。その後、指導に当たった蟹田警察署内村巡査長から、子供の特徴について五つの注意がありました。

①気分屋である②物事を考えるに単純だ③大人の真似をする④すぐ夢中になる⑤いくら話しても分からないの五つです。

お母さん達には、特にこれらの事につけていただき、交通事故から子供達を守って欲しいものです。

教室はこの後、会場を児童館に移し、二本の交通安全アニメ映画「あぶないよまがりかどからのとびだし」と「メイプルタウンの交通安全」を鑑賞して終りとなりました。

七月十四日(金)、午後一時から蓬田村児童館横の広場で、蓬田幼稚園児四十三名と母親を対象にした交通安全教室が開催されました。

実技指導では、ダミー人形を使った実験がありました。これは、子供が車の陰から飛び出した時に、運転手が急ブレーキを踏んで車が停止するまでの距離を実際に見てもらおうと行われたもので、二十・三十・四十・五十キロとスピードを変えて実験されました。

園児達は、スピードを上げた自動車が激しく人形にぶつかるシーンに目を見張り、車



すばらしい音楽が子供たちに わらび座合奏団公演

蓬田小学校・中学校芸術鑑賞教室実施

七月十日(月)、蓬田村教育委員会主催の音楽芸術鑑賞教室が、蓬田小・中学校の児童、生徒を対象に蓬田中学校体育館で開催されました。子ども達にいい音楽を鑑賞してもらい、教養を高めてもらおうと開催されたこの教室、今回は秋田県から「わらび座合奏団」を招いての公演会でした。

演奏は若者十五人

わらび座の本部は、秋田県の田んぼの中であり、団全体では家族を含め約三百人もいるそうですが、この日来てくれたのは、総勢十五名の若い男女でした。団は、楽器や大道具・小道具を積み込んだトラックと、団員を乗せた大型バスで前日にはわが村に到着。



蓬田中学校体育館に設定された舞台は、簡素な造りですが、使う楽器は、琴や尺八・和太鼓・三味線などの和楽器、ホルンやティンパニ・ギターなどの洋楽器から南米で使われている民俗楽器までいろいろ。それも一人で数種をこなします。

多彩な演目で会場を魅了

さて、実際の公演ですが、午前と午後の二部構成になり、午前の部が小学生対象で十時三十分から七十分間、午後の部が中学生対象で一時から九十分間、それぞれ父母の方達の参加も得ながら、歌あり、演奏ありの楽しい教室となりました。

午前と午後は多少演目に違いがありますが、構成は大体同じ。公演は幕なしで、途中に解説をはさみ早いテンポで進みます。

どちらも、オープニングはにぎやかな祭りばやしの「八木節」。

まずは、活気のある舞台を想像させます。

続いて、クラシックやフォルク・ローレなどの世界の音楽、沖繩から津軽・北海道までの民謡 etc.

「剣の舞」「かじ屋のポル

カ」「楽器紹介」「コギリコ」「沖繩の太鼓」「唐船どっこい」「田植えうた」「ソーラン節」「秩父屋台ばやし」「コンドルは飛んでいく」「津軽山唄」「津軽じよんから節」「どだればち」と、耳になじみの曲ありめずらしい曲あります。

また、午前の部では「心に咲くタンポポ」、午後の部では「明日に咲くタンポポ」という曲を「みんなて歌うコーナ」もあり、少し恥ずかしいのか小さな声で始まりましたが、やがて大きな声が出るようになり、会場は和やかな雰囲気になりました。

最終演目は、歌と語りと演奏による音楽物語。午前は「スッコップ君の太鼓」、午後は「種を粉に引くな」で、どちらも感動を呼ぶ場面が続き、目をうるませる生徒の姿も見られました。



● 芸術鑑賞教室開催される

夏休み中の注意!

高校生を持つ父母の会から

夏休みは、気のゆるみから生活態度に節度を失うことがあり、色々な問題や事故が起きやすい時期でもあります。有意義な夏休みとするため、次の事項に注意するようお願い致します。

- 一、生徒心得を遵守し、宵宮やネプタ祭等で社会人と行動をとるにもする際にも、高校生としての生活態度を崩すことのないよう十分注意すること。
- 二、外出等に際しては、高校生としての品位と自覚をもって行動し、生徒手帳を必ず携えてはならない。
- 三、夜間外出は午後九時までとし、保護者同伴の外出、映画観賞や、その他の用事の際でも、午後九時まで帰宅できるようにすること。(ただし、ネプタ祭期間中は午後十時まで)。
- 四、飲酒、喫煙はもちろんのこと、風俗営業法等で禁じられているスナック、パチンコ店等へは入らないこと。
- 五、道路歩行、自転車運転の際は交通安全に注意する。
- 六、事故、非行は絶対にあってはならない。

- 七、アルバイト、キャンプ等については、保護者とよく話し合って承諾を受けること。
- 八、水泳は指定されたプール、海水浴場以外は禁止する。
- 九、疾病は夏休み中に治療しておく。
- 十、ネプタに参加する場合は保護者と話し合いをし、高校生としての品位と自覚をもって行動すること。

楽しい夏休みを過ごして下さい。



こんな服装になったら要注意!!



家族や仲間にも広めよう

黄色いハンカチはSOSの合図

黄色いハンカチは障害をもつ人が困ったときの合図。いま、障害者に対する理解と協力を求める「黄色いハンカチ運動」が全国に広まりつつあります。

これは、心臓や腎臓などに障害をもつ人や、目や耳が不自由な人が、外出先で何か困ったとき、黄色いハンカチを振って助けを求めるといいうものです。

困っている人には、声をかけよう

厚生省のデータによると、全国の身体障害者の約四割に当たる九十五万人が、内部障害や視覚障害をもつ人です。このような人たちは、外観は健康な人と何ら変わりなく見えます。そのため、突然、発作などが起きても、周りの人から適切な処置をとってもらえないといった事態も考えられるのです。

道端などで苦しんでいる人を見かけたなら「どうされたか?」と声をかけるのは当然の行いです。が、黄色いハンカチによって障害をもつ人だと分かれば、わたしたちはより迅速な処置をとることが出来ます。

この運動を実りあるものとするためには、一人でも多くの人々が黄色いハンカチの趣旨を正しく理解していなければなりません。

「黄色いハンカチはSOSの合図」——この合言葉を、あなたからあなたの家族へ、そして職場や地域の仲間へと広めていきたいものです。





川柳ひとすじ四十年

今回は、昭和二十五年から川柳を作り始めて、今年で四十年と長い間頑張っている中沢の工藤正一さんを取材しました。



No.78 **かんぱる** 工藤 正一さん 中沢

工藤さんが川柳と出会ったのは、今はじき杉野十佐一(蟹田町)さんから「俳句より世相川柳がおもしろい」と勧められて《おかしょうき川柳吟社》に入会したことに始まります。

俳句と世相川柳の違いは、

俳句は自然を対象にしか歌えないし、使う言葉にも制約があるが、川柳は人を対象に自由に言葉を使って歌えるところにあるそうです。

工藤さんは、東奥日報社へ川柳を投句しています。

昭和六十一年六月十三日に掲載されてから、今年の六月二十八日までに掲載された句が百句を数えました。

そして、この度めでたく記念誌を発行しました。

百句掲載ということは大変なことです。何しろ、東奥日報社には一日に三百を超える川柳が寄せられ、その中から厳選された十句だけが掲載(夕刊に)されるのです。

工藤さんは、一日一句を目標に毎日頑張っています。

川柳は、ただ家には出来ません。そこで、村内にネタ探しに歩くのです。

「これが、私の頭と身体の健康の元」と言います。

七十才の好好爺工藤さん、今度は二百句掲載が目標と今日も頑張る。

ここで、自薦の代表作二句をご紹介します。

・腐敗の根
掘れば掘るほど太くなり

・物よりも
心と暮らす仲の好き

○ 8月の行事予定

日	行	事	担当
27	子ども会リーダー研修会(眺望山)		中央公民館
25	村民野球大会(小学校・中学校グラウンド)		村体育協会
24	一才半児・二才児健診(中央公民館)		民生課
24	成人式(中央公民館)		社会教育課
23	盆踊り大会(玉松海水浴場)		村商工会・村観光協会
22	県民体育大会(八戸市)		村体育協会
20-19	乳児健診(中央公民館)		民生課
23	子宮がん健診(長科公民館)		民生課
24	子宮がん健診(瀬辺地民生会館)		民生課
24	蓬田小学校・中学校始業式		小学校・中学校
25	いも掘・いも煮会		蓬田小学校
27	牧場祭り(村営牧場)		農林水産課



昔はどこにでもいたという「めだか」を見つけました。めだかは、北海道をのぞく日本全国、朝鮮、中国の流れのゆるやかな川、池、たんぼの近くに群れをつかって生息しているそうです。暖かい時に卵を産みますが、卵には細いひもがついているので、水草からまわって流れないという生命力もあります。日本に住んでいる淡水魚の中で、一番小さい魚で、また、流れにさらって泳ぐ習性があります。しかし、このめだか、日本では、水田等に農薬を使い始めたころから、徐々に姿を見ることが出来なくなりました。いつまでも生き延びてほしいものです。

みくつけた 18

けっばる蓬田人 ⑪

はつてん製麺

（有）はつてん製麺・食事処 出雲・味処 めさ舞

代表取締役 佐井徹郎 さん



蓬田村民の皆さんいかがが
過ごしてでしょうか。古里、生
れ故郷、里、なんと耳ざわり
の良い親しみの持てる言葉で
しょう。

古里ってのは人生に行詰っ
た時の心のより処みたいな気
がします。子供の頃かけまわ
った野山、水遊びをした川や
海、乗り合いバスが通った後

の土煙、人様の畑から失敬
して食べた「まくわうり」の
味、草深い田舎道、かやぶき
の家並、そんなイメージを浮
かべて久々に帰村しても都会
化しつつある風景に失望しま
したが、子供の頃無心で遊ん
だ山や川、独特の方言はしっ
かり残っています。

鮭が何千キロ回遊しても、
生まれ故郷の川の臭いで帰る
ように、生まれて育った土の
臭い、空気の臭い、幼馴染み
の懐かしい顔にホッと心のや
すらぎを覚えるのは私だけで
しょうか。こんな時、古里が

あつてよかった。そう思いま
す。

今は、交通機関も発達して、
しよっぱい川を渡らずとも故
郷へ帰れますが、長い時間鈍
行にゆられ、連絡船で帰村し
た長くて遠かった頃がむしろ
懐かしく思い出されます。

村を出て三十年、色々な人
生体験の中から私は今、外食
産業のチェーン化を目指して
日夜奮闘していますが、残念
ながら今一步伸び悩み、自分
の力と才能に限界を感じてい
る今こそ津軽のじよっぱりの
精神で裸一貫での出発点を思

い出しながら頑張りたいと思
います。

最後に連絡船の見えた海と、
流れも清き広瀬川を思い浮か
べながら蓬田村民の健康と益
々の発展を願いつつペンを置
きます。



めも

▶現住所/北海道釧路市桜ヶ岡5丁目4番39号
☎0154-91-1665▶生年月日/昭和14年1月29
日▶出身/広瀬▶家族構成/妻(信子)・長女
(結花)▶好きなもの/食べ歩き・野球観戦▶
経歴/青森県立青森工業高等学校卒業(昭和33
年)・(株)はつてん製麺入社(昭和43年)・
独立開業(昭和48年)・食事処出雲開店(昭和
52年)・味処めさ舞開店(昭和60年)～現在

戸籍の窓



人口と世帯数
(5月31日現在)

総人口 4,217人
男 2,035人
女 2,182人
世帯数 1,044世帯

6月受付分

お誕生おめでとうございます

飯田 陽介	(慶二郎 美幸)	長男
泉 和希	(憲春 光子)	2男
高田 圭介	(真妙 一子)	長男

ご結婚おめでとうございます

(川新張柴小工佐柿丸柿北藤大坂)	(内岡間田鹿藤井崎尾崎山田友本)	(俊直敏尚則ひとみ厚昭理和良真)	(彦子治子夫とみ清子則賀子徳良)	(阿弥青長平長青阿弥青蟹広中)	(陀森科内科森市町瀬市沢城沢)	(川科町科市川市町瀬市沢城沢)
------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------

おくやみ申し上げます

八戸 青木 高坂 青木	ミサ(阿弥陀川) 光成(阿弥陀川) 常雄(瀬 辺 地) ミチヨ(阿弥陀川)	58歳) 61歳) 78歳) 58歳)
-------------	---------------------------------------	---------------------